

第1章「稼ぐ力」の強化と地域経済循環の活性化

第1節 農業の振興

施策の基本的方向	【基本的方向】 「夢と希望が持てる農業のまち」として、農業者をはじめ、町民みんなでふるさとに誇りを持って北栄町の農業を次の世代へつなげていくことを目指します。	【令和6年度までの評価】						【令和7年度の評価】(期末)				
		【～R3】 本町の主幹産業である農業の振興を図るため、産地パワーアップ事業や園芸産地活力増進事業など、国県の有効な事業を活用して生産出荷に係る施設整備を促進している。 将来を見据えて担い手の育成・確保に係る新規就農者や親元就農者を支援する事業を展開した。 【R4】 農業振興の推進、安定した収量の確保のため、施設整備支援、担い手(新規就農者)確保を引き続き取り組んでいる。 農業振興を図るため、国県の各種事業を活用し、新規就農(担い手)確保、施設整備を支援し、産地維持に取り組めた。 ブランド化による単価の安定、新規就農者数・支援に関しては順調。 就農者数と離農者数のバランス、人材紹介センターについては引き続き取り組みを強化する。 【R5】 担い手確保に向け、生産部、JA、県等の関係機関と連携し、産地体験会等の取り組みを実施した。 【R6】 農業振興、担い手育成を図るため、生産部、JA、県等の関係機関との連携、国県の補助事業の活用、新規就農相談会等の事業を展開した。						農業振興、担い手育成を図るため、生産部、JA、県等の関係機関との連携、国県の補助事業の活用、新規就農相談会等の事業を展開した。 また、北栄町の地域おこし協力隊の新たな仕組みにより、「移住×農業」の隊員募集を始め、R8.4年に隊員着任が決まった。 これらにより産地振興・維持に繋がっている。				
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目) 期末	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
				実績値	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
		町内農業総生産額 ※市町村別農業生産額推計	86.4億円(H30)	85.9億円(R1)	数値なし ※調査結果の未公表 評価なし	86.3億円(R2) やや遅れている	88.1億円(R4※R6.3.14公表値)/ やや遅れている	89.5億円(R5※R7.3.25公表値)/ 順調	— ※R8.6月公表予定	実績値は、農林水産省公表「R6年市町村別農業産出額」	R6年結果は、2025年農林業センサスの確定値(2026年3月末以降、順次公表)を適用し推計を行うため、令和8年6月下旬の公表予定。	89.4億円
									</			

具体的施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値／評価	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価	R7(6年目) 期末 実績値／評価			目標値(R7)																												
	(1)農産物の ブランド化の 推進	生産者、JA、行政など関係者 が連携して、都市部をはじめと する大消費地での北栄町農産 品のPR、直売を行い、ブラン ド力の一層の強化を図ります。	・北栄町ブランドPR・販売 促進事業 ・農産物ブランド推進活動 支援事業 ・すいか・ながいも健康マ ラソン大会	主要品目の単価 ※1割アップ	・西瓜 3,396円/ケース ・ねばりっこ 380円/kg ・らっきょう 606円/kg ・ぶどう 950円/kg	・西瓜 2,056円/玉 ・ねばりっこ 399円/kg ・らっきょう 567円/kg ・ぶどう 1,155円/kg	・西瓜2,081円/ 玉 (4162円/ケー ス) 順調 ・ねばりっこ 391円/kg 概ね順調 ・らっきょう 671円/kg 順調 ・ぶどう 1,212円/kg 順調	・西瓜 3,761円/ケース 順調 ねばりっこ 412円/ケース 順調 らっきょう 640円/kg 順調 ぶどう 1,318円/kg 順調	・西瓜 3,907円/ケース ・ねばりっこ 458円/ケース ・らっきょう 524円/kg ・ぶどう 1,328円/kg <マラソン> 大栄西瓜 1,200玉 とろろ汁 4,000食配布	・西瓜 3,994円/ケース ・ねばりっこ 482円/ケース ・らっきょう 622円/kg ・ぶどう 1,467円/kg <マラソン> 大栄西瓜 1,100玉 とろろ汁 4,000食配布 順調	・西瓜 4,091円/ケー ス ・ねばりっこ 490円/ケース ・らっきょう 671円/kg ・ぶどう 1,518円/kg <マラソン> 大栄西瓜 1,100玉 とろろ汁 5,000食配布 順調	いずれもの品目も 順調。 6/15に開催した すいか・ながいも健 康マラソン大会に て大栄西瓜ととろ ろ汁を振舞った。	県内外で農産物PRイベントを各生産部、JA、県 等と協力し実施。試食販売は各会場で好評。 北栄町の特産品をより知っていただくためすい か・ながいも健康マラソン大会会場にて、大栄西 瓜ととろろ汁を振舞い、県内外者にPRした。	・西瓜 3,735円/ケース ・ねばりっこ 418円/kg ・らっきょう 666円/kg ・ぶどう 1,045円/kg																												
															(2)新たな販 路開拓、農商 工連携	北栄町農産品を活用した商 品開発や販路開拓等を行う者 の支援や町内観光農園及び飲 食店と連携した町内周遊イベ ントを実施し、北栄町農産品の 付加価値を高めるとともに町 内外に向けた魅力発信に取り 組みます。	・食と農の魅力創造支援 事業 ・ほくえい味覚めぐり	新たな商品開発件数	商品開発 1件/年	商品開発 1件/年	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 68件/年 達成済	道の駅ほうじょう での商品開発件数	・道の駅ほうじょうで北栄町産農産品を使用し た商品開発がされた。 ・6次化に意欲のある者からの相談に随時対応 し、必要に応じて県農業振興課等と連携しなが ら助言を行った。	商品開発 3件/年														
																													(3)新規就農 への参入支 援と担い手 の育成・確保 将	将来、地域の担い手となる新 規就農者や認定農業者、集落 営農組織、法人等の育成確保 を図ります。	・農業経営サポート事業 ・就農営農相談員の配置 ・農の雇用事業の活用 ・先進地視察研修 ・集落営農組織化、法人化 支援事業 ・青年就農給付金、就農応 援交付金、親元就農促進 交付金、就農条件整備事 業 ・アグリスタート研修(事業 主体：鳥取県)	求人者数 ※常時雇用	15人/年	延67人/年	延24人/年 順調	1人/年 やや遅れている	0人/年 遅れている	0人/年 遅れている	0人/年 遅れている	町の人材紹介セン ター	町の人材紹介センターへは相談はなかった。	20人/年
																																新規就農者数	8人/年	11人/年	5人/年 やや遅れている	14人/年 順調	7人/年 やや遅れている	1人/年 遅れている	3人/年 遅れている	－	国・県等の補助金を活用して新規就農者の支援 に取り組んでいる。 R8.3月末の支援実績(R7年度までに就農した 者を含む) 農業次世代人材投資資金 ・経営開始資金 14 人 就農応援交付金 3人 親元就農促進支援交付金 7人 (就農条件整備事業7人)	10人/年
(4)イチゴ産 地化の取り組 み	(株)北栄ドリーム農場の取り 組みを核に、地域おこし協力 隊制度 を活用してイチゴ栽培 の技術を有する人材を養成す るとともに、JA・県等の関係機 関が連携して、イチゴの産地化 に取り組めます。	・イチゴ地域おこし協力隊 事業 ・イチゴ栽培資材導入支援	イチゴ栽培における 雇用者数	3人	3人 地域おこし協力 隊(5名)は除く	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	－	・R2の人員体制から1名減	6人																													

第2節 商工業の振興

施策の基本的方向	【施策の基本的方向】 町内の商工業活性化を目指して、町商工会と連携して町内事業者及び創業を志す人を支援します。 また、雇用相談や職業紹介の場の提供による求職者への支援及び新規に雇用を行う事業者への支援を通して、雇用の確保及び町内事業者が求める人材のマッチングを促進します。	【令和6年度までの評価】						【令和7年度の評価】(期末)						
		【～R3】 新型コロナによる地域経済対策として、事業継続を支援する取り組みを進めた。将来にわたって地域内循環を活性化する新たな取り組みとして町商工会が実施主体となる「ほくほくカード」の取り組みを支援し、持続可能な地域経済の維持・発展のきっかけづくりを行った。 【R4】 商工会と連携して、物価・燃油高騰対策として、事業継続を支援する取り組みを進めた。「ほくほくカード」の取り組みでは、必要に応じて町民生活を応援するためのポイントチャージキャンペーンを実施し、地域内循環の活性化を進めた。商工会と連携し、起業者数等の増加につなげた。 商工業の活性化、雇用・人材確保いずれの施策項目にも遅れが見られるため、情報発信・周知に努める。 【R5】 商工会と連携して、起業者数等の順調な増加につなげた。経営課題解決や事業進展を図る町内事業者の支援として、複業人材活用の取り組みを勧めた。商工業の活性化、雇用・人材確保いずれの施策項目にも遅れが見られるため、情報発信・周知に努める。 【R6】 商工会と連携して、起業者数等の順調な増加につなげた。営課題解決や事業進展を図る町内事業者の支援として、複業人材活用の取り組みを進めた。商工業の活性化、雇用・人材確保について、引き続き商工会と連携して情報発信・周知に努めた。商工会と連携してほくほくカードキャンペーンの実施により、町民生活町内事業者を支援するとともにポイントの地域循環の活性化を進めた。						商工会と連携して、起業者数等の順調な増加につなげた。 経営課題解決や事業進展を図る町内事業者の支援として、町・商工会・地域活性化起業人・地域の人事部地域おこし協力隊とともに「地域の人事部」の体制を構築できた。 商工業の活性化、雇用・人材確保について、引き続き商工会と連携して情報発信・周知に努めた。						
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目) 期末	R7(6年目) 期末			目標値(R7)		
				実績値	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況			
		製造品出荷額等	83.7億円(H30) ※速報値	数値なし ※令和3年 経済センサス	数値なし ※調査結果の未公表 評価なし	66.2億円(R3) 遅れている	数値なし ※センサスはR8 実施予定	数値なし ※センサスはR8 実施予定	数値なし ※センサスはR8 実施予定	—	・エネルギー・原材料価格の高騰化の影響を受けた町内事業者の持続的発展を支援するとともに、必要に応じて規模拡大等に係る支援を行った。 ・出張相談の実施などハローワークと連携して求職者への支援を行った。	83.7億円を維持		
		製造業従業者数	553人 ※速報値			560人 順調						553人を維持		
		年間商品販売額	266.9億円(H28)			206.3億円(R3)						266.9億円を維持		
		卸売業・小売業従業者数	711人(H28)			609人(R3)						711人を維持		
		※達成状況は経済センサス活動調査(令和3年、8年に実施予定)で確認。												

具体的 施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値／評価	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
											実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
	(1)商工業活 性化の推進	商工会と連携して町内事業 者への支援を行い、本町の商 工業活性化を促進します。 規模を拡大しようとする事業 者に対して、北栄町企業立地 促進奨励金制度により、有効 な支援を行います。 また、「名探偵コナンに会え るまち」の魅力をさらに高める ために、由良宿周辺地域での 創業を重点的に支援するとと もに、空き店舗の有効活用と 事業継承を支援し、既存の商 店街の賑わい創出を図りま す。	・企業立地促進奨励金 ・創業支援事業 ・由良宿まちづくり活性化 支援事業 ・地域商業自立促進事業 (事業主体:北栄町商工 会) ・町内及び町外企業訪問	商工会会員数	377社	400社	402社 順調	400社 順調	410社 順調	405社 順調	407社 順調	—	・商工会と連携し、エネルギー・原材料価格の高 騰化の影響を受けた町内事業者の持続的発展 に向けた支援を行った。	380社
			町内企業増設社数 ※企業立地促進奨励 金申込み件数	4社/年	3社/1年	8社/2年 順調	10社/3年 やや遅れている	10社/4年 やや遅れている	14社/5年 遅れている	19社／6年 遅れている	5社	・工場を新設・増設及び機器の設置を行う事業 所に対し、企業立地促進奨励金の案内を行って いる。	25社/6年	
			町内起業者数 ※創業支援事業利用 件数	3件/年	4件/1年	8件/2年 順調	13件/3年 順調	20件/4年 順調	32件/5年 達成済	36社／6年 達成済	4件	商工会と連携し北栄町創業支援、北栄町由良宿 まちづくり活性化支援事業において起業・創業 を支援した。 由良宿まちづくり活性化支援事業は、申請回数 を拡大(1回⇒2回)	18件/6年	
	(2)雇用・人 材確保施策 の充実	雇用の安定、新たな雇用の創 出のため、雇用相談・職業紹介 の場の提供、職業能力向上の 推進、雇用創出の取り組みに 対する支援、障がいのある人 の就労支援など、関係機関と 連携しながら各種の取り組み を進めます。 また、事業者が求める人材確 保に係るマッチング支援を行 います。	・町担当課に開設している 雇用相談・無料職業紹介 所窓口の運用 ・町ホームページによるハ ローワーク求人紹介 ・農業経営サポーター事業 との連携支援 ・職業訓練及び資格取得 研修の周知 ・ふるさと就職応援事業 ・企業立地促進奨励金の 活用 ・町内事業所求人情報 コーナーの設置 ・障がい者雇用支援・啓発 事業 ・あいサポーター研修の実 施による企業への啓発、 相談支援の充実	特別創業支援認定者 数	5件/年	5件/1年	12件/2年 順調	16件/3年 順調	23件/4年 順調	35件/5年 達成済	39件/6年 達成済	4件	・産業支援センターや商工会が実地する経営支 援相談や研修会に参加して認定された者に対 し、町から認定証明書を交付し、創業に必要な支 援を行っている。	30件/6年
			職業能力向上研修者 の正規雇用者数 ※町内者が研修受講 し、正規雇用となった 人数	7人/年	5人/1年	5人/2年 やや遅れている	未算出 ※R5.4月以降に 判明 評価なし	19人/4年 遅れている	22人/5年 遅れている	26人/6年 遅れている 一名 障がい分野は把 握していない	4名 (障がい分野未集 計)	・技能講習等の職業能力開発に関する案内を、 庁舎内に設置している「求人情報コーナー」に配 架し、就職者及び在職者に周知した。 ・商工会等へ障がい者就労支援センターの周知 を行い、障がい者雇用に係る啓発を図った。	45人/6年	
			企業立地促進奨励金 利用雇用者数	6人/年	8人/1年	8人/2年 概ね順調	9人/3年 遅れている	11人/4年 遅れている	13人/5年 遅れている	16人/6年 遅れている	3人	・商工会総会にて商工会員に奨励金の紹介を 行った。 ・事業所の新設並びに増設に伴い、町内者を雇 用する事業所に奨励金を案内した。	40人/6年	

第3節 観光の振興

施策の基本的方向	【基本的方向】 「名探偵コナンに会えるまち」という本町ならではの取り組みや、恵まれた自然環境、豊かな特産品、青山剛昌ふるさと館に近接する国史跡 由良台場跡など多くの文化・歴史・文化財資源などを活かし、その魅力をさらに高める取り組みを推進することで、本町の魅力を多くの人に知ってもらい、交流人口を増加させるとともに地域経済の活性化につなげ、地域の賑わいと活力を創出します。	【令和6年度までの評価】						【令和7年度の評価】(期末)				
		【～R3】 新型コロナウイルス感染拡大の影響から、入込客数などの実績は大幅に減少した。非接触などの感染対策や地元需要喚起対策に取り組みながら、令和4年度に向けて誘客体制を整備している。 【R4】 コロナ規制緩和が行われたことで、客足が戻り実績値は概ね達成することができた。インバウンド客は、ピーク時には及んでいないが、鳥取中部推進機構等と連携し、引き続きプロモーションを強化していく。コロナ禍の落ち込みから、客足が回復に転じてきた。 高規格幹線道路の完成や道の駅再整備を見据え、国内外のプロモーションを引き続き強化していく。 【R5】 米子ソウル便、米子香港便、台湾チャーター便が再開されインバウンド客の取り込みも回復傾向にある。コロナは5類に移行し、ふるさと館の入館者はコロナ前の水準に戻りつつあり、町内への観光入込客数も順調に回復している。道の駅の整備、ふるさと館の再整備等を見据え、今後も継続してイベント、PRを強化し、一層の交流人口増加を図っていく。 【R6】 ふるさと館の入込客数が過去最多を記録するなど、各観光施設の入込客数は順調に増加しており、今後も道の駅ほうじょうがオープンするなど入込客数の増加が見込まれる。北条オートキャンプ場については、横ばい傾向にあるものの、4月に新設されたBBQ棟については、人気を博しており、キャンプ場全体の3割以上を占める結果となった。インバウンドについては、米子ー香港定期便、及び米子ー台湾定期チャーター便就航などの影響により回復傾向にある。今後も大阪・関西万博の開幕、ふるさと館の再整備等を見据え、国内外へのPRを強化していく。						ふるさと館入館者数は、過去最多だった前年を2万人上回っており、万博特需により、インバウンド客は前年比170%に達している。 道の駅ほうじょうがオープンしたこともあり、町全体の入込客数は前年比193%となった。 コナン通り周辺の施設については、前年比10%前後の増となったが、北条オートキャンプ場、レークサイド大栄、道の駅大栄については前年比横ばいもしくは減少傾向にあり、原因としてキャンプブームの終焉、昨今の猛暑、類似施設の開業があげられる。 インバウンドについては、鳥取中部観光推進機構が中心となり誘致に注力している。				
		重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目) 期末	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
				実績値	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
		北条町観光入込客数	76万5千人/年	45万6千人/年	44万3千人/年 遅れている	55万8千人/年 (見込) 概ね順調	69万1千人/年	80万4千人/年 遅れている。	155万6千人/ 年 目標を大きく上 回る	・ふるさと館の入館者増、道の駅ほうじょうのオープン等により町全体の入込客数は前年比193%となった。 ・道の駅ほうじょう、ふるさと館は大幅増となり、コナン通り周辺施設は増加傾向であるが、北条オートキャンプ場、レークサイド大栄、道の駅大栄については前年比横ばいもしくは減少傾向にある。	105万7千人/年	

具体的施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値／評価	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
	(1)「名探偵コナンに会えるまち」の推進等による観光地づくり	「名探偵コナンに会えるまち」の推進による観光ルートづくりを推進するとともに、飲食・物販施設の開設等を促すことで交流人口の増加・地域経済の活性化を図ります。 青山剛昌ふるさと館を、「名探偵コナンに会えるまち」北条町のシンボルとして、必要な機能を取り入れ充実させ、町民はもちろんのこと、ファンや観光客にも愛される施設に再整備します。また、作品の保存・展示やイベントの企画運営に携わる専門的人材の育成や活用を進めます。	青山剛昌ふるさと館入館者数	22万人/年	6万4千人/年	8万3千人/年 遅れている	13万4千人/年 概ね順調	18万人/年	23万4千人/年 目標を大きく上回る	25万4千人/年 目標を大きく上回る	実績値／評価	取組内容・状況		20万人/年
												具体説明		
												・入館者数は過去最多だった前年を2万人上回る 254,787人/年を記録。 ・強風や降雪等の悪天候により9月と1月が前年を下回る入館者数となったが、その他全ての月で前年を上回った。 ・主要なアジア圏のインバウンドが前年を上回っており、特に台湾が3倍以上に増加している。		
(2)道の駅の整備	本町の2つの道の駅を、観光情報を発信する広域交流拠点として位置づけ、道の駅「北条公園」について、国や施設の管理運営者と連携しながら再整備を進めます。また、道の駅「大栄」についても、再整備に関する検討を行います。	・道の駅再整備事業	道の駅「ほうじょう」への立寄者数(レジ通過者数)	4万3千人/年	2万9千人/年	2万人/年 遅れている	1万人/年 順調	道の駅「ほうじょう」は現在再整備のため、実績はありません。	道の駅「ほうじょう」R7オープンのため実績なし。	73万7千人/年 目標を大きく上回る	・年間目標値を達成済み。	・季節に応じたイベント等を実施し、目標値を大幅に上回ることができた。 ・今後も北条町の観光の拠点となる施設として、指定管理者と協力して運営を行う。	33万人/年	
			道の駅「大栄」への立寄者数(レジ通過者数)	31万1千人/年	26万8千人/年 遅れている	26万4千人/年 概ね順調	30万2千人/年 順調	31万5千人/年 概ね順調	28万8千人/年 概ね順調	・目標値に対して概ね順調。	・道の駅ほうじょうのリニューアルオープンで観光客、お客様ともに分散された可能性はある。	32万6千人/年		
			(3)広域観光の促進	鳥取県中部圏域の観光関係団体と連携しながら、特産品をはじめ地元素材を活用した周遊性のある取り組み及び国内外への戦略的な魅力発信を行います。また、山陰道(北条道路)及び北条湯原道路等の高速ネットワークを活用した広域的な観光ルートを整備します。	・広域観光連携モデル事業	鳥取県中部圏域観光入込客数	176万1千人/年 (H30年)	180万8千人/年 (R1年)	124万6千人/年 (R2年) 遅れている	126万5千人/年 (R3年) 概ね順調	318万1千人/年 (2月末) 達成	194万7千人/年 (R5年) 遅れている	189万2千人/年 (R6年) 遅れている	・前年に比べて減少した。目標の達成は難しいと思われる。 ・倉吉・三朝・湯梨浜については前年比横ばいもしくは減少したが、北条・琴浦については増加している。 ・インバウンドについては、鳥取中部観光推進機構が中心となり誘致に注力。米子ー香港定期便は9月より運休となったが、台湾香港の旅行会社への誘客支援金については、14ツアー350人程度の申請があった。また、中部全体のインバウンドの入込客数はR5からR6にかけて3000人弱増加(20%増)した。

第4節 環境・エネルギー施策の推進

施策の基本的方向	【基本的方向】 2019年12月に表明した「気候非常事態宣言」に基づき、2050年までのゼロカーボン(人為起源のCO ₂ 排出の実質ゼロ)に向けた取り組みを推進します。徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限の活用によりCO ₂ の排出削減を行うとともに、それらの取り組みを地域でお金が回る仕組みづくり、健康かつ快適な生活の実現、災害時のための分散型エネルギーシステムの構築などにつなげます。	【令和6年度までの評価】						【令和7年度の評価】(期末)				
		【～R3】 全体的に重要目標達成指標の実績値は増加し順調に進捗している。各種補助金制度について町HPや町報で周知して省エネ、再エネへの関心を高めて設備導入等を支援することで、地元産業の振興、災害に強く安心して快適に暮らせる住まいの実現につなげた。令和3年度には地域新電力会社が設立され、令和4年度の公共施設の地域新電力(地域の再生可能エネルギーを活用)契約に向けた準備を進めている。 【R4】 目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまち の取り組みを続ける。 【R5】 目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまち の取り組みを続ける。 【R6】 目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまち の取り組みを続ける。						目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまち の取り組みを続ける。				
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値／評価	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
		再生可能エネルギー導入量 ※町が関与した導入	15,807kW	15,873kW	16,010kW 順調	16,096kW 達成済	16,177kW 達成済	16,319kW 達成済	16,426kW 達成済	具体説明 ・創エネ補助金(太陽光発電)107kW	取組内容・状況 ・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2025.5月号、8月号)で補助制度についての記事掲載	

具体的施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値／評価	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価	R7(6年目) 期末			目標値(R7)	
	(1)再生可能エネルギー等の活用によるまちづくり	風力、木質バイオマスなど地域の再生可能エネルギーを活用する取り組みを一層推進するとともに、家庭や事業所における再生可能エネルギー等設備導入の取り組みを支援します。また、地域新電力 事業、熱供給事業など、エネルギーを地産地消できる仕組みづくりを行います。	・公共施設等への創エネ等設備の導入推進 ・風力発電事業の推進 ・北栄町バイオマス産業都市構想 の推進 ・地域新電力 事業に関する検討 ・家庭用創エネ設備等設置費補助金事業	家庭用創エネ設備等設置件数	354件	387件	422件 順調	458件／3年 順調	495件／4年 順調	546件／5年 達成済	579件／6年 達成済	具体説明	取組内容・状況	430件／6年	
					中部圏域における地域新電力会社の立ち上げ支援	0社	0社	1社 順調	1件 達成済	1件 達成済	1件 達成済	1件 達成済	—	—	1社
					公共施設の地域新電力(地域の再生可能エネルギーを活用)契約率	0%	0%	0% 評価なし	0% 順調	約95% 順調	約98% 順調	約98% 順調	公共施設の電気を鳥取みらい電力に切り替え済	R5.4から公共施設の電気は鳥取みらい電力へ切り替え 風力発電に関する電気もR6.10月に切り替え ※融雪装置(松神・冬季のみ)はこれまでどおり中国電力。	50%
					(2)環境にやさしく、健康で快適なライフスタイルへの転換	断熱性能に優れた省エネ住宅の建築・改修の普及促進により、エネルギー消費を減らすとともに、健康で快適な住生活の実現に取り組みます。また、まずは公共が模範を示すべく、公共施設等におけるエネルギー利用のあり方等について検討します。	・省エネリフォーム助成事業 ・省エネ建築や省エネリフォームに関する町民、事業者への普及啓発事業 ・CO ₂ 大幅削減を実現する公共施設等のあり方検討及び適正管理	省エネリフォーム戸数	149戸	156戸	172戸 概ね順調	180戸 概ね順調	184戸 要見直し	190戸 要見直し	206戸 順調

第2章 住みたくなる・住み続けたくなるまちづくり

第1節 子どもを産み育てやすいまちづくり

施策の基本的方向	【基本的方向】 子育て世代包括支援センター(ネウボラ)の機能を充実させ、早期から支援を切れ目なく行うための体制を構築します。また、幼児教育・保育サービスの充実等により、誰もが働くことと子育てを両立できる社会の実現を目指します。子育てと仕事の両立や、世代間・地域がつながり、安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指し、社会全体で子育てを支援する支え愛の取り組みを進めます。	【令和6年度までの評価】						【令和7年度の評価】(期末)				
		【～R3】 各種子育て支援事業を予定どおり実施しており、今後も支援体制の充実するため、庁内の連携のあり方について検討を進めた。 【R4】 子育て支援センターを中心に相談等を重ねた。こども園の中途入所に対する待機については、引き続き有資格者の確保に努める。 【R5】 他課からネウボラ内に児童虐待対策業務を移管し、支援体制の充実を図った。 【R6】 保育料等無償化などの経済的負担軽減を実施し幅広い保育サービスを提供しているが、こども園の待機児童については引き続き職員の確保に努める。						こども家庭センター開設に向け、妊娠期から成人まで切れ目のない支援体制の準備を進めた。こども園職員(有資格者)の確保については計画的な雇用の検討が必要である。				
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目) 期末	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
				実績値	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
		町の子育て支援施策に満足する人の割合 ※町民アンケートのうち、「関心がない」「無回答」を除いた構成比	71.8% 充分満足 8.3% まあ満足 63.5% やや不満 26.6% 全く不満 1.6%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施 評価なし	- 評価なし	- 評価なし	- 評価なし				80.0%
町の子育て支援施策に満足する人の割合 ※住民生活満足度調査							満足 26.6% どちらともいえない 50.3% 満足していない 23.2%	町による出産、育児、子育て支援に対する満足度	・子育て支援センター(ネウボラ)によるワンストップ窓口として総合的な支援サービスを提供した。 ・妊婦のための支援給付事業で相談支援と経済的支援を同時に実施した。 ・子育てと仕事の両立支援として、保育料等無償化などの経済的負担軽減や、病児保育、一時預かりなど保育サービスも幅広く提供した。			

具体的施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目)	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
						実績値	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
	(1)結婚・出産・子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり	結婚の意思がある若い世代の希望の実現を図るため、新婚世帯に対する金銭面等のサポートを行います。また、妊娠・出産について、より多くの人が希望を叶えられるよう特定不妊治療費助成を行うとともに、妊娠適齢期についての普及啓発を行います。安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。	・乳幼児健診・子育て支援センターでの乳幼児相談 ・離乳食講習会 ・育児教室 ・赤ちゃん訪問(保健師) ・乳幼児全戸訪問(訪問相談員) ・養育支援訪問 ・個別支援プランの作成 ・産前・産後サポート ・結婚新生活支援事業(新婚世帯に対する住居費等に関する支援) ・特定不妊治療費助成事業 ・若者への啓発事業(親育ち事業、成人式にパンフレット配布)	育児について相談したり、話したりする人があると答える人の割合	98%	93.6 % (3歳児健診)	99.0 % (3歳児健診) 順調	97.3% (3歳児健診、3月末) 概ね順調	99% (3歳児健診) 順調	97% (3歳児健診) 概ね順調	100% (3歳児健診) 順調	3歳児健康を受診した保護者のうち、育児について相談したり、話したりする人があると答えた人の割合。	・「育児教室における相談支援」、「相談相手がない方の対応」、「妊娠期からの早期介入」は保健師等による面談を行ったことにより保護者の不安解消につながった。 ・産後早期に支援者が不足する方に対し、産後ケア事業や養育訪問事業等による支援を行った。 ・相談者がいないと答えた保護者へ相談先等の情報提供を行った。	100%
				妊娠適齢期という言葉を知っている人の割合 ※成人式アンケート	86.2%	数値なし ※成人式延期のため	74.6% 遅れている	項目削除されており、アンケート実施なし 評価できず	82人/117人 70% 遅れている	85人/99人 86%	実施しない	成人式(二十歳の集い)の参加者のうち、妊娠・出産に適齢期があると知っている人と答えた人の割合	・成人式(二十歳の集い)のアンケート実施方法の変更に伴い、アンケート実施を取りやめたため、評価不可。次の計画では評価指標を変更予定。 ・二十歳の集いで、プレコンノート(若者の健康づくり)を配布し、妊娠のみならず若者の健康づくりについて啓発した。	90%
	(2)子育て世代への支援と幼児教育・保育サービスの充実	保育料の無償化や在宅育児世帯支援事業給付金等による子育て世代への財政的支援や、延長保育、病児・病後児保育、休日保育、放課後児童クラブの実施による子育て支援の充実を図ります。	・延長保育事業 ・一時預かり事業 ・休日、病児・病後児保育事業 ・放課後児童健全育成事業 ・在宅育児世帯支援事業給付金 ・幼児教育・保育無償化 ・子どもの医療費助成制度 ・ひとり親家庭医療費助成制度 ・インフルエンザワクチン等の接種補助 ・新生児の家庭へのごみ袋無料配布	こども園入所待機児童数	0人	5人	2人 遅れている	8人 遅れている	10人 遅れている	9人 遅れている	9人	入所保留通知書の送付数	・職員配置について、国基準を上回る北栄町の基準を設け、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えたが、申込のあった児童全てを受け入れる職員配置は職員が不足するためできなかった。 ・在宅育児支援事業により、家庭で保育する保護者に給付金を支給した。	0人の継続
				放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人	0人 順調	0人 順調	0人 順調	0人 順調	0人	申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。	・申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。 ・保護者が就労等で昼間家にいない児童を放課後に預かり、児童の健全育成を行った。	0人の継続

第2節 未来をつくる教育の推進

施策の基本的方向	【施策の基本的方向】 地域の将来を担う人材の確保が課題となる中、子どものときから自分の生まれ育った町と地域の魅力を知り、誇りと愛着を持つための機会を提供します。 児童生徒の「生きる力」を育成するため「家庭」「地域」「学校」が連携し「確かな学力づくり」「豊かな心と人間関係づくり」「健康な体と体力づくり」に取り組めます。	【令和6年度までの評価】						【令和7年度の評価】(期末)				
		【～R3】 新型コロナの影響で、鳥取中央育英高校の「地域探究の時間」では、現地での活動が制限されたり、中止されたりするなどの影響があったが、オンラインで学生が交流したり、成人式や発表会をオンライン形式で行ったりする等、新たな活動方法も生まれている。 学校教育場面では、ふるさとキャリアパスポートを活用しながら、地域やふるさとを考える機会づくりを進めた。また、コミュニティスクールの推進により地域の方々と交流することができ、地域について考える機会が増えている。 【R4】 学力面の低下が顕著に出ている。小中高の連携、生涯学習など学校と地域の連携が改めて重要。 【R5】 コロナ禍の制約も解け、予定していた事業を着実に実施した。鳥取中央育英高校の地域探究は令和5年度、北栄町を中心とした地域の人材の紹介をおこない、生徒の地域への関心度を高めることができた。 【R6】 学校における支援体制の充実を図っている。生徒の学校外での活動参加等を推進し、地域への関心度を高めることができた。						学校における支援体制の充実を図るとともに生徒の学校外での活動参加等を推進し、地域への関心度を高めている。中学生の地域行事への参加も増加しており、機会の創出や地域貢献の意欲の向上などがその要因であると考えられる。				
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)実績値	R3(2年目)実績値／評価	R4(3年目)実績値／評価	R5(4年目)実績値／評価	R6(5年目)実績値／評価	R7(6年目) 期末		目標値(R7)	
		高校卒業後、地元を離れたが将来は地元に戻って就職したいと思う人の割合 ※成人式アンケート	51%	数値なし ※成人式延期のため	50%遅れている	53.9%順調	51.28%概ね順調	50.4%遅れている	実施しない	－	・「地域探究の時間」における地域の魅力の発掘、課題解決を図る人材育成。 ・ボランティア体験により地元の理解を深め、社会性を学んでいる。	55%

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R2(1年目)実績値	R3(2年目)実績値／評価	R4(3年目)実績値／評価	R5(4年目)実績値／評価	R6(5年目)実績値／評価	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
	(1)地域を支える人材の育成	学校や家庭だけでなく、地域が子どもを守り育てていく主体の一人であるという意識の醸成を図りながら、地域社会全体で将来の北栄町を担う人材となる子どもへの関わりづくりの取り組みを推進します。 職業体験、SDGsに関する学習、地域課題の探究プログラム、地産地消、地域の観光・産業等を活用した地域における学びの機会を提供し、子ども達の将来の選択肢や可能性を広げます。	・鳥取中央育英高校との連携による「地域探究の時間」の実施 ・鳥取大学と連携による実践型学習の実施 ・ほくほくプラザにおける企業と連携したSDGs教育プログラムの実施 ・コミュニティスクールの導入、実践 ・地域で子どもを育てる体験活動支援補助金事業の推進 ・地域行事への参加促進(家庭教育12か条キャンペーン、朝の元気配達便等) ・生き方を学ぶ講演会 ・職場体験学習 ・小中学校授業(生活・総合的な学習)におけるふるさとキャリア教育 ・総合的な学習における地域人材の活用 ・地元産食材を活かした学校給食と食育推進 ・地域の文化・歴史・文化財を活かした魅力発見・体感事業の推進(地域副読本、北栄ふるさとかるた、北栄みらい伝承館の活用、出前講座等)	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合	【中3】 35.9% (国39.4%) (県40.8%)	数値なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため全国調査なし	【中3】 51.3% (国43.8%) (県45.6%) 順調	【中3】 52.6% (国40.7%) (県42.2%) 順調	【中3】 61.2% (国63.9%) (県68.1%) 国、県を下回るが、昨年度より数値は伸びている	【中3】 81.4% (県)76.8% (国)76.1% 国、県を上回る	【中3】 66.6% (県)75.7% (国)75.3% 令和7年4月17日実施の全国学力・学習状況調査結果より。	・北条、大栄校区ごとにコミュニティスクールを導入し地域の人材を生かした取組を実践 ・ボランティア活動の周知 ・小中学校でふるさとキャリア教育、生き方を学ぶ講演会、地元産食材を使った調理実習、SDGsについての学習などに取り組んだ。 ・地域の人材や北栄ふるさとカルタを活用した青少年育成講座(おもしろまなびタイム)の実施 ・ほくほくプラザ事業でSDGs推進学習を実施 ・ほくほくクラブを立ち上げ、人権学習に加え、体験活動等を通じた探究学習を実施	【中3】 国県数値以上
			鳥取県の課題に対してアイデアがある高校生の割合 ※実践型学習「地域探究の時間」の事前事後アンケート	41.4% (事前30.4%)	44.6%(事前22.4%)	50.4% (事前23.5%) 順調	40% (事前39%) やや遅れている	62.8% 順調	51.6% (事前45.6%) 順調	65.8% (事前64.0%) 順調	－	中央育英高校の地域探究の時間(10年目)の取り組みで、2年生が地域の魅力発信や課題解決に取り組んだ。 加えて1年生も地域探究の基礎学習として地域に向向いて探究学習を行い、2年生に繋がる経験を重ねた。 高校生議会(12年目)を1月26日に開催し、12人の高校生議員が質問を行った。	50%/毎年

具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目)	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
				実績値	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	実績値／評価	R7(6年目) 期末		
										実績値／評価	具体説明	
(2)教育環境 の充実	習熟度に応じた授業やICT 教育の導入等による学力の向 上、人権教育・体験活動・ス ポーツ活動・国際理解教育等 を通じた豊かな心と健やかな体 の育成に取り組めます。また、 子ども一人ひとりの状態・状況 に応じたきめ細かな個別支援 を行います。	【確かな学力づくり】 ・特別支援教育の充実 ・スクールカウンセラー や スクールソーシャルワー カー の配置 ・講師招聘による授業研 究事業、学力調査(全国学 テ・NRT・CRT等) ・学び力向上アクション週 間の設定 ・国際理解教育の推進(小 学校外国語授業、中学生 英語力向上事業等) ・中学生英検検定料助成 事業 ・高校生遠距離通学費助 成事業 ・サマースクール ・フリースクール利用料助 成事業 ・学習支援事業 【豊かな人間関係づくり】 ・ハイパーQU調査 ・いじめ実態調査 ・生き方を学ぶ講演会の 開催等 ・地域・学校とともに人権 を学ぶ機会の提供 ・通学合宿	全国学力・学習状況 調査平均正答率	数値なし ※新型コロナウイルス感 染症拡大のため全国調査 なし	【小6】 国語 66% (国64.7%) (県64%) 算数70% (国69%) (県70.2%) →順調	【小6】 国語 57% (国65.6%) (県64%) 算数58% (国63.2%) (県62%) 理科58% (国63.3%) (県63%) →下回っている	【小6】 国語 67% (国67.2%) (県67%) 算数65% (国62.5%) (県61%)	【小6】 国語 65% (国67.7%) (県68%) 算数62% (国63.4%) (県63%)	【小6】 国語 67% (国66.8%) (県65%) 算数62% (国58%) (県55%) 理科63% (国57.1%) (県56%)	令和7年4月17日 実施の全国学力・ 学習状況調査結果 より。	・確かな学力づくり 講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国 学調・とっとり学調・学力調査・NRT等)、サマー スクール実施、学力向上アクション週間の設定、 自治会等地域ボランティア学習活動支援事業等 学年末到達度確認問題を各校で活用するなどし て、学力の向上に努めている。	【小6】 国県数値以上 【中3】 国県数値以上
				不登校児童生徒の出 現率	【小学生】 1.84% (国不確定) (県1.10%) →出現率が高い	【小学生】 1.49% (国、県未公表) →評価なし	【小学生】 1.92% (国1.7%) (県2.19%) →出現率が高い	【小学校】 2.93% (県)2.27% (国)2.14%	【小学校】 1.69% (県)2.39% (国)2.30%	県、国はR6年度末 の数値	・豊かな人間関係づくり WEBQU調査、いじめ実態調査、子どもじんけ んサミットの開催、生き方を学ぶ講演会の開催 等 ・SSWを2名配置し、校種別に担当 アウトリーチによる支援を行う ・チーム学校としてSC、SSWによる支援の方向 性や情報共有 ・北条中学校に校内教育支援センターを設置し、 不登校状況が続く生徒への対応、不登校未然防 止の対応を行う R6年度の出現率を比較すると、小・中学校とも に下回っている。中学校では小学校からの不登 校状況が継続している生徒が多い。中学校に設 置した校内教育支援センターでは、小学校で不 登校だった生徒にアプローチが進み、動きがみ られる。小学校では学校生活適応支援員を配置 し、不登校児童へのサポートを行っている。小中 学校にそれぞれ巡回しているSSWの働きかけ も、不登校児童生徒の状況の好転につながっ た。	【小学生】 国県数値以下 【中学生】 国県数値以下

第3節 移住定住の促進

施策の基本的方向	【基本的方向】 移住に関心はあるが北栄町のことをよく知らない人、北栄町への移住に関心のある人など、それぞれの関心の度合いに応じた情報発信・情報提供を行います。また、移住者への様々な支援を行い、北栄暮らしを応援し、定住へとつなげていきます。	【令和6年度までの評価】						【令和7年度の評価】(期末)				
		【～R3】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地方移住や地元へのUターンの機運が高まっているなか、オンラインツールを利用した移住相談会の開催等により、移住者数の実績値は増加した。 【R4】 相談会の開催回数の減少に比例して、移住者数の現象が見られる。コロナの影響による相談会の回数減の影響が表れた。 【R5】 移住相談会のオンライン開催が定着している。オンライン移住相談会で個別相談をした方は個別相談自体の数は少ないものの移住につながっている。町への連絡ツールとして参加をしている傾向がある。 【R6】 分かりやすい移住・空き家改修補助金等の案内チラシを作成し、町HPでの周知や空き家バンク利用希望者へ丁寧に案内することで、移住につながっている。実績値は昨年度同数だが、相談会等で積極的にPRし、支援事業については地元不動産会社等に定着している。						町ホームページ及び案内チラシで移住・空き家改修補助金等の周知や、空き家バンク利用希望者へ丁寧に説明を継続することで昨年度と同等の移住者数が維持できている。新たに多世代同居による空き家改修補助金創設し、県外若者世帯の呼び込みを行った。相談会だけでなく著名人による移住定住テレビ番組(1番組×2回放送)で情報発信を行った。				
		重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値／評価	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 実績値／評価	R7(6年目) 期末			目標値(R7)
									実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
		移住者数 ※県への移住者報告数	66人/年	79人/年	91人/年 順調	63人/年 R5.3.13現在 やや下回っている	77人／年	66人/年 やや下回っている	67人/年 やや下回っている	10代以下8人 20代22人 30代11人 40代8人 50代8人 60代6人 70代以上4人	・各種補助事業(移住者住宅取得支援補助金・若年層加算あり、空き家化抑制事業、IJU空き家改修支援事業補助金)による支援	75人/年

具体的 施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値／評価	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 実績値／評価	R7(6年目) 期末			目標値(R7)	
						実績値／評価		実績値／評価		実績値／評価		実績値／評価			実績値／評価
			具体説明		取組内容・状況										
	(1)情報発信・情報提供体制の構築	都市圏での相談会参加、オンライン相談会開催等による情報発信、移住定住に関する相談窓口の整備等により、移住に関心がある人への積極的な情報提供、体験機会の提供を行います。	・移住定住相談員配置事業による相談窓口のワンストップサービス ・お試し住宅事業 ・地域おこし協力隊事業	移住相談会へ参加	8回/年	10回/年	10回/年 順調	6回/年 やや遅れている	・移住相談会への参加7回/年 ・町主催オンライン相談3回/年 順調	移住相談会への参加6回/年 やや遅れている	8回/年 若干遅れている	相談会への参加(6.8.8.10.10.11.12.12月)	・移住相談会への参加、中部地区市町の相談会の開催。窓口での相談受付	10回/年	
	(2)北栄暮らしの支援	北栄町への移住を促進するための各種支援を行います。	・移住奨励金事業 ・若年層移住定住者住宅取得補助金事業(対象：18歳～45歳) ・空き家家財処分費補助金事業 ・IJUターン空き家改修支援補助金事業 ・Uターン者就職活動交通費補助金事業 ・空き家情報バンク事業	県外転入者の移住奨励金利用件数 ※住宅取得又は空き家情報バンク物件の賃借	2件/年	6件/年	4件/年 順調	4件/年 概ね順調	4件/年 概ね順調	8件/年 順調	3件/年 やや遅れている	・空き家情報バンク売却1件、賃貸1件 ・IJU1件	・県外転入者に対して、空き家改修支援補助金等該当の補助金を交付、空き家バンク物件の県外者へのマッチング	5件/年	
	(3)北栄暮らしの魅力向上に向けた総合的な検討	北栄町への移住定住者を増やしていくためには、大前提として、北栄町における暮らしの魅力そのものを向上させていくことが何より重要となります。このため、今後の社会情勢の変化や移住者の方々を含めた町民からの意見も踏まえつつ、通信環境・交通手段等のインフラにおける課題、土地の利活用における課題等、北栄町が「住み続けたいまち」として選ばれるに当たっての課題について総合的に整理し、新たな政策の検討を行っていきます。		—	—	—	— 評価なし	— 評価なし	— 評価なし	— 評価なし	— 評価なし	—	北栄町の移住定住者の増加に向けた様々な施策を総合的に実施。 令和7年度は鳥取県全体として移住者数増加を図るため相談会の拡充や情報発信(町への移住者インタビュー等)に取り組んでいる。 数値的な比較基準がないため「評価なし」としている。	—	